

解剖学Ⅱ

科目ナンバリング GEA-102
選択 2単位

深井 厚

1. 授業の概要(ねらい)

解剖学は、医療やスポーツ指導に携わるものにとって、共通言語となる必修基礎分野である。志す仕事において深める内容は異なるが、基礎となる構造・機能を学修する必要がある。解剖学Ⅰに続いて、解剖学Ⅱでも重要な諸臓器や体を統括する神経系について学ぶ。

2. 授業の到達目標

人体を構成する構造・機能を理解し、学術的用語で説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

最終講義日に試験を行い、点数化して成績を評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

藤田恒夫 入門人体解剖学 改訂第5版 南江堂

5. 準備学修の内容

教科書を熟読し、講義前に全体像を把握、講義後にさらに熟読し、理解を深める。

6. その他履修上の注意事項

必修である生理学やスポーツ医学へのつながりを念頭に学修することを勧める。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入 解剖学Ⅱの学修内容全般を知る
- 【第2回】 呼吸器系の構造を理解する
- 【第3回】 泌尿器系の構造を理解する
- 【第4回】 生殖器系の構造を理解する
- 【第5回】 内分泌系の構造を理解する
- 【第6回】 神経系1—神経系の構成と脊髄・脳幹を理解する
- 【第7回】 神経系2—大脳・脳の血管・脳室を理解する
- 【第8回】 神経系3—脳神経を理解する
- 【第9回】 神経系4—脊髄神経を理解する
- 【第10回】 神経系5—自律神経と神経伝導路を理解する
- 【第11回】 感覚系1—視覚器を理解する
- 【第12回】 感覚系2—平衡聴覚器を理解する
- 【第13回】 感覚系3—皮膚を理解する
- 【第14回】 まとめ
- 【第15回】 試験